

大輪の花

2021年も早いもので1か月が過ぎようとしています。
今年も明桜館高校生徒・職員共々よろしく願いたします。

ところで、昨年暮れに2020「かごしま錦江湾サマーナイト花火大会」が名称や時期を変更して開催されました。

今年度の大会は「かごしまウィンターナイト花火大会」の名称で、新型コロナウイルス感染症の影響により、打ち上げ場所を分散し、感染防止を図ることで、医療従事者の方々等への感謝を示し、県民・市民を元気づける大会として実施されました。

本校も打ち上げ場所の一つに選ばれ、グラウンドから冬空を彩る素晴らしい花火が打ち上げられました。

2021年 令和3年のスタートと同時に始業式、課題考査、そして大学入試共通テスト、自己採点、3年生は卒業考査と続きます。

共通テストの会場であった鹿児島大学農学部では、3年生の中で「続ける」ということを一番実践してきた生徒たちが本番に臨みました。

各部活動では県新人大会が開催されています。

先日、サッカー部の試合を応援に行きました。力のある生徒が入部し、放課後の練習でも主将の宮脇君を中心によくまとまっていたので、期待をしていました。結果はベスト16進出。試合後、鹿児島ユナイテッドFCの運営・強化本部の湯脇健一郎運営部長からも生徒のプレイに感激したとの電話をいただきました。(湯脇部長は、本校の前身の甲陵高校OBです。)

新しい年に、明桜館の生徒たちが、冬空を彩った花火同様にそれぞれの夢に向かって大輪の花を咲かせられることを願っています。



← 前田教頭先生撮影